

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

#3
mm
5-29-01
US 119

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 9月29日

出願番号

Application Number:

特願2000-299990

出願人

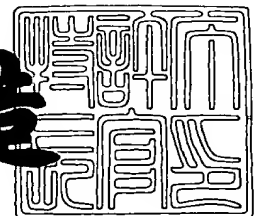
Applicant (s):

株式会社日立国際電気

2001年 3月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3023078

【書類名】 特許願

【整理番号】 2000464

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 03/00
G06F 17/00
G09F 05/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都中野区東中野三丁目 1 4 番 2 0 号 国際電気株式
 会社内

 【氏名】 杉山 和彦

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都中野区東中野三丁目 1 4 番 2 0 号 国際電気株式
 会社内

 【氏名】 西橋 明彦

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都中野区東中野三丁目 1 4 番 2 0 号 国際電気株式
 会社内

 【氏名】 緒方 征敬

【特許出願人】

 【識別番号】 000001122

 【氏名又は名称】 国際電気株式会社

 【代表者】 遠藤 誠

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 060864

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ検索システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索を行うデータ検索システムにおいて、

前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、

検索実行する際に保険に加入するか否かを選択する選択エリアと、が設定され、ユーザサイトが前記選択エリアに保険に加入する旨のデータの選択を行って検索実行することにより、

当該検索に保険を掛けて検索実行することを特徴とするデータ検索システム。

【請求項 2】 検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索の契約を行うデータ検索システムにおいて、

前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、

検索実行する際に保険に加入するか否かを選択する選択エリアと、が設定され、ユーザサイトが前記選択エリアに保険に加入する旨のデータの選択を行って検索の契約の申込みをすることにより、

当該検索に保険を掛けて検索実行が為されることを特徴とするデータ検索システム。

【請求項 3】 検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索を行うデータ検索システムにおいて、

前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力

エリアと、

検索実行する際に保険に加入するか否かを選択する選択エリアと、が設定され、ユーザサイトが前記選択エリアに保険に加入する旨のデータの選択を行うことにより保険金額が表示され、

該保険金額の確認をユーザサイトにて行った後に当該検索に保険を掛けて検索実行が為されることを特徴とするデータ検索システム。

【請求項4】 前記保険に関するデータは前記通信回線を介して保険サービスを提供する保険サイトが前記検索サイトに与えて前記検索画面に該データを表示することを特徴とする請求項1乃至請求項3記載のデータ検索システム。

【請求項5】 前記検索サイトの検索画面には、前記各種情報を保有する各種サイトを検索の容易度に応じて区分けした保険区分エリアが表示され、前記ユーザサイトが前記保険区分エリア毎に保険に加入するか否かの旨を入力することで、該保険区分エリア毎に検索に保険を掛けることができることを特徴とする請求項1乃至請求項4記載のデータ検索システム。

【請求項6】 検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索を行うデータ検索システムにおいて、

前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、

検索実行する際に保険に加入していることを示す保険データエリアと、が設定され、

ユーザサイトからの検索実行が為されると当該検索に保険を掛けて検索実行することを特徴とするデータ検索システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット等の通信回線において、文字や記号の羅列によるキーワードやURL (Uniform Resource Locator) などでの検

索キーワードによりウェブサイト等の各種ホームページのデータを検索してヒットしたデータを取得し、表示するデータ検索システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

図10は、従来の検索システム図の一例を示す。

インターネット等の通信回線105には、検索する側のユーザサイト101、検索サービスを提供する検索サイト1002、各種情報を提供する情報源の側となるウェブジン（オンラインマガジン）1101や有料ウェブサイト1102、無料ウェブサイト1103、等の各種のホームページやウェブページである情報検索群110が接続されている。一般にこれら各種のホームページやウェブサイト（ウェブページ）はワールドワイドウェブ（WWW）上にあるHTML（HyperText Markup Language）と呼ばれるファイルであって、すなわち、インターネットに接続されて相互にデータのやり取り等ができるものである。

【0003】

ここで、ユーザサイト101より検索を行う場合、ユーザサイト101から検索サイト1002にアクセスし、検索画面を表示した上で文字や記号の羅列によるキーワードやURLなどでの検索キーワードを入力して検索を実行する。

検索実行においては、インターネット等の通信回線105を介して検索キーワードに合致するキーワードを含む各種ホームページやウェブサイトなど（以降、単にウェブサイトという）を検索結果として取得し、ユーザサイト101の端末に表示する。

【0004】

図11は、従来例の検索システムにおける検索チャート図の一例を示す。

ユーザサイト101では、検索サイト1002にアクセスして入力画面111となる検索ホームページなどの検索をするための初期画面を表示する。この検索ホームページでは検索キーワードの入力を行うためのエリアがキー入力部として表示画面に含まれており、このキー入力部にユーザが文字や記号などのキーワードやURLなどの検索キーワードを入力して表示画面に含まれる検索開始キーをク

リックすることで検索が為される。

【0005】

検索は検索ホームページにリンクした検索ソフトウェアの起動により情報検索群110より入力した検索キーワードに合致する各種ウェブサイト（各種のホームページやウェブサイト）を検索ヒットする。情報検索群110の中で検索によりヒットした各種ウェブサイトのメールアドレスなどのデータを取得し、取得した件数をヒット件数として、これらを併せた検索結果をユーザサイト101に送信する。

この検索結果であるヒット件数とヒット一覧がユーザサイト101の画面に出力画面112として表示される。

ユーザは、出力画面112のヒット一覧の中より詳細を閲覧したいウェブサイトを選択することで、当該ウェブサイトのホームページまたは、ヒットしたキーワードを含む個所にアクセスして該選択した詳細データを取得して出力画面113として表示する。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

上記従来技術の問題点として、例えば情報検索群110の中にはウェブジン1101や有料ウェブサイト1102や無料ウェブサイト1103、さらには機密情報等のデータを扱う特殊なウェブサイト等の特定サイト1104、などのあらゆるウェブサイトがあり、検索によってこれらあらゆるウェブサイトへアクセスを行ってしまう場合があり、その結果、検索によりアクセスされたウェブサイトからの苦情や補償請求をされるような事態となることが想定される。

このような事態とならないために予め検索するウェブサイトを絞り込む、または検索しないウェブサイトを予め検索サイト1002のデータベースに保持しておき、それらを検索しないような検索ソフトウェアとして検索プログラムを構築しておく必要がある。

このように予め検索するウェブサイトを絞り込むことにより（したがって検索されないウェブサイトがあることにより）、ユーザ側では本質的に検索して得たい情報を得られないという問題点が発生する。

一方、検索するウェブサイトを絞らない、というようにあらゆるウェブサイトを検索する場合には、検索されたウェブサイトからの苦情や補償請求といったリスクを負うことになり問題点となる。

【0007】

本発明の目的は、上記従来技術の問題である、検索によりアクセスされたウェブサイトからの苦情や補償請求をされてしまうことを想定して、検索サイトからの検索を行う場合に、予め検索に対する保険を掛けることで、検索する各種ウェブサイトの絞込みなどの選択をする必要がなく検索洩れが生じにくくすることができるデータ検索システムを提供することである。

また、万一、検索されたウェブサイトからの苦情や補償請求などが生じた場合にも、補償金などを予め検索の際に掛けた保険で賄うことができるデータ検索システムを提供することである。

また、検索サイトからの検索を行う場合に、予め各種ウェブサイトの種別に応じて検索に対する保険を掛けることが選択できるようにすることで、検索洩れを生じにくくしつつ、保険金額の低減を図ることのできるデータ検索システムを提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記従来例の課題を解決するため請求項1記載の発明によれば、

検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索を行うデータ検索システムにおいて、

前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、検索実行する際に保険に加入するか否かを選択する選択エリアと、が設定され、ユーザサイトが前記選択エリアに保険に加入する旨のデータの選択を行って検索実行することにより、当該検索に保険を掛けて検索実行することを特徴とし、

ユーザサイトより検索する際に保険を掛けることができ、保険を掛けて検索実行が為されることにより、情報源となるあらゆる種類のサイトからの検索によるデ

ータ取得を実行した場合でも、ユーザサイトが安心して検索を行うことができる。

【 0 0 0 9 】

上記従来例の課題を解決するため請求項 2 記載の発明によれば、
検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索の契約を行うデータ検索システムにおいて、
前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、検索実行する際に保険に加入するか否かを選択する選択エリアと、が設定され、ユーザサイトが前記選択エリアに保険に加入する旨のデータの選択を行って検索の契約の申込みをすることにより、当該検索に保険を掛けて検索実行が為されることを特徴とし、
ユーザサイトより検索サイトに対して検索の申込みを行う場合に、当該検索に保険を掛けることができ、保険を掛けて検索実行が為されることにより、情報源となるあらゆる種類のサイトからの検索によるデータ取得を実行した場合でも、ユーザサイトが安心して検索を行うことができる。

【 0 0 1 0 】

上記従来例の課題を解決するため請求項 3 記載の発明によれば、
検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索を行うデータ検索システムにおいて、
前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、検索実行する際に保険に加入するか否かを選択する選択エリアと、が設定され、ユーザサイトが前記選択エリアに保険に加入する旨のデータの選択を行うことにより保険金額が表示され、該保険金額の確認をユーザサイトにて行った後に当該検索に保険を掛けて検索実行が為されることを特徴とし、
ユーザサイトより検索する際に保険を掛けることができ、さらにこの保険に掛かる保険金額を確認することができるため、ユーザサイトでは保険を掛けて検索実行するかどうかを選択することができて、ユーザサイトが安心して保険に加入し

検索を行うことができる。

【 0 0 1 1 】

上記従来例の課題を解決するため請求項 4 記載の発明によれば、

前記保険に関するデータは前記通信回線を介して保険サービスを提供する保険サイトが前記検索サイトに与えて前記検索画面に該データを表示することを特徴とし、

通信回線を介した保険業務を保険サイトにより行うことができ、さらに、ユーザサイトからの検索の要望に細かく対応して検索毎に保険を掛けることができる。

【 0 0 1 2 】

上記従来例の課題を解決するため請求項 5 記載の発明によれば、

前記検索サイトの検索画面には、前記各種情報を保有する各種サイトを検索の容易度に応じて区分けした保険区分エリアが表示され、前記ユーザサイトが前記保険区分エリア毎に保険に加入するか否かの旨を入力することで、該保険区分エリア毎に検索に保険を掛けることができることを特徴とし、

ユーザサイトより検索する際に情報源となる各種のサイト毎に保険を掛けることができ、ユーザサイトにおいて必要と考える情報源の各種のサイトに保険を掛けて検索実行がなされることにより、ユーザサイトが保険金額を低減できて安心して検索を行うことができる。

【 0 0 1 3 】

上記従来例の課題を解決するため請求項 6 記載の発明によれば、

検索サービスを提供する検索サイトと、各種情報を保有する各種サイトと、が通信回線に接続されて、任意のユーザサイトが前記通信回線を介して前記検索サイトの検索画面を表示して検索を行うデータ検索システムにおいて、

前記検索サイトの検索画面には、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、検索実行する際に保険に加入していることを示す保険データエリアと、が設定され、ユーザサイトからの検索実行が為されると当該検索に保険を掛けて検索実行することを特徴とし、

予め保険が掛けられて検索実行が為されることにより、情報源となるあらゆる種

類のサイトからの検索によるデータ取得を実行した場合でも、ユーザサイトが安心して検索サイトをアクセスして検索を行うことができ、検索サイトにおいても検索によるリスクを低減できるために検索サイトを安心して通信回線上に提供することができる。

【0014】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【0015】

図1は、本発明に関わる検索システムの第1実施例を示す。

インターネット等の通信回線105には、検索する側のユーザサイト101、検索サービスを提供する検索サイト102、この検索サイト102へ保険を提供する保険サイト103、各種情報を提供する情報源の側となるウェブジン1101や有料ウェブサイト1102、無料ウェブサイト1103、特定サイト1104等の各種のホームページやウェブサイトである情報検索群110が接続されている。

ここで、ユーザサイト101より検索を行う場合、ユーザサイト101から検索サイト102にアクセスし、検索画面を表示した上で検索キーワード等の検索に係る文字や記号やURLなどを入力して検索動作に入る。

【0016】

検索サイト102は、保険サイト103より検索の種類やヒット件数などに応じた保険区分及び保険金額等のデータを提供されて、検索サイトの検索サービスを行う画面にリンクしてユーザサイト101よりアクセスされることとなる。

検索動作においては、検索開始の際に保険に入るかどうか、または、保険区分や保険金額をユーザサイト101より確認のデータを検索サイト102側にて受領した後行われる。検索は通信回線105を介して検索キーワードに合致するキーワードを含む各種ホームページやウェブサイトなどを検索結果として取得し、ユーザサイト101の端末に表示し、さらに、検索に係った保険区分や保険金額等のデータも表示する。

なお、本実施例による詳細な検索動作については後述する。

【0017】

図2は、本発明に関わる検索システムの第2実施例を示す。

この第2実施例は前述した第1実施例の保険サイト103より保険に関するデータを取得するのではなく、予め検索サイト202と保険会社203との契約等により検索サイト202の検索画面に保険データを表示しているものである。

即ち、インターネット等の通信回線105には、検索する側のユーザサイト101、検索サービスを提供する検索サイト202、各種情報を提供する情報源の側となる情報検索群110が接続されている。

また、検索サイト202の検索画面には、検索に係る、例えば検索の種類やヒット件数などに応じた保険区分及び保険金額等のデータが検索の種類別に画面表示されている。

【0018】

ユーザサイト101より検索を行う場合、ユーザサイト101から検索サイト202にアクセスし、検索画面を表示した上で検索キーワード等の検索に係る文字や記号やURLなどを入力して検索動作に入る。

検索動作においては、検索開始の際に保険に入るかどうか、または、保険区分や保険金額をユーザサイト101より確認のデータを検索サイト202側にて受領した後、行われる。検索は通信回線105を介して検索キーワードに合致するキーワードを含む各種ホームページ等のウェブサイトを検索結果として取得し、ユーザサイト101の端末に表示し、さらに、検索に係った保険区分や保険金額等のデータも表示する。

【0019】

図3は、本発明に関わる動作フローチャートを示す第1実施例を示す。

本動作フローチャートの第1実施例は前述した図1の検索システムの第1実施例に適用した場合であり、ユーザサイト101より検索サイト102にアクセスして検索を行う場合に保険を掛けた上で検索を実行して情報検索群110より検索結果を取得するものである。

【0020】

まず、検索サイト102には予め保険サイト103より検索に係る保険に関する

各種データを取得しておく（S300）。保険に関する各種データには、情報検索群の中より無料ホームページである、または有料ホームページである、または、会員専用ホームページである、といった検索が容易であるか難易であるかによって情報源の種別を定めており、この種別によって保険区分を設定している。さらに保険区分により保険金額を設定している。

【0021】

ユーザサイト101は検索サイト102にアクセスして（S301）、検索するための画面、即ち入力画面31を表示する（S302）。この入力画面31には前述した保険に関する各種データも表示されており、また、ユーザが検索キーワード等のキー入力や保険に関する選択を行うキーエリアが設けられており、必要なキー入力及びキー選択を行って検索実行に移行する（S303）。

ここで、実際の検索を行う前に、ユーザがキー入力及びキー選択を行ったことによる保険金額の算出を実行して入力画面32に保険金額を表示し（S304）、ユーザが該保険金額を確認した後、検索開始キー入力（S305）によって検索が為される（S306）。

なお、入力画面31、32については後述する図5の説明にて詳述する。

【0022】

検索は、情報検索群110より設定した情報源の種別に基づいて為され、検索によりヒットしたデータを取得して（S307）その結果を出力画面33に表示する（S309）。

ここで、保険の加入及びその課金については、前述した保険金額の確認による検索開始によって為されるか、若しくは、検索結果のデータ取得の際に、全ヒット数や情報源種別毎のヒット数等によって保険加入やその保険金額の増減が為される場合がある。

例えば、前者の場合には検索ヒットした取得データをユーザサイト101がそのまま取得するものである。

後者の場合には、検索ヒットした取得データの情報源種別毎のヒット件数と保険金額等の一覧表示だけを行い、取得データの詳細についてユーザサイト101が希望する場合（S310）だけ、保険加入して（S312）検索サイト101が

詳細データを取得（S 3 1 1）して表示（S 3 1 3）するものである。

なお、出力画面 3 3 の例である一覧画面については後述する図 6 に詳述し、出力画面 3 4 の例である詳細画面については後述する図 7 に詳述する。

【 0 0 2 3 】

図 4 は、本発明に関わる動作フローチャートを示す第 2 実施例を示す。

本動作フローチャートの第 2 実施例は前述した図 1 の検索システムの第 1 実施例に適用した場合であり、ユーザサイト 1 0 1 より検索サイト 1 0 2 にアクセスして検索に係るキーワードや検索種別などを設定して検索に保険を掛ける契約を成立させるための動作フローチャートである。

すなわち、ユーザサイト 1 0 1 と検索サイト 1 0 2 と保険サイト 1 0 3 との間で交わされる検索に保険を掛ける契約であって、この契約された任意の期間に一定周期毎に検索サイト 1 0 2 が検索を実行し、その結果をユーザサイト 1 0 1 に送信して知らせることができるものである。

【 0 0 2 4 】

ユーザサイト 1 0 1 は検索サイト 1 0 2 にアクセスして（S 4 0 1）、検索サイトのホームページの画面、いわゆる入力画面 4 1 を表示する（S 4 0 2）。

この入力画面 4 1 には検索の契約を申し込む選択キーが設定されており、ユーザのキー選択によって、契約申込みのための画面、即ち入力画面 4 2 を検索サイト 1 0 2 より取得して表示する（S 4 0 3、S 4 0 5）。

この入力画面 4 2 には保険に関する各種データも表示されており、また、ユーザが検索キーワード等のキー入力や保険に関する選択を行うキーエリアが設けられており、必要なキー入力及びキー選択を行って検索の契約申込みに移行する（S 4 0 6）。

一方、前記入力画面 4 1 より検索の契約が申し込まれた場合にはその旨が検索サイト 1 0 2 より保険サイト 1 0 3 に送信されて（S 4 0 4）、保険サイト 1 0 3 では、担当者が検索に係る保険の内容などを検討する準備が為される。

そして、前記入力画面 4 2 より検索に係る設定が為されたデータを検索サイト 1 0 2 より受信（S 4 0 7）した保険サイト 1 0 3 の担当者は、設定された検索条件による検索シュミレーション等により保険金額を算出し（S 4 0 8、S 4 0 9

）、検索サイト102に送信する（S410）。

【0025】

検索サイト102は、前記入力画面42より設定された検索条件と、保険サイト103より受信した保険金額とをリンクさせてユーザサイト101に送信し（S411）、ユーザサイト101では、出力画面43として表示する。

ユーザサイト101は、出力画面43に表示された設定データと保険金額を確認して契約を実行する場合には、画面に表示されている契約実行キーをクリックし、その旨が検索サイト102が受領すると契約が成立する（S412）。

検索サイト102は、契約が成立した旨を保険サイト103に送信し（S413）、また、契約完了の確認データをユーザサイト101に送信し（S414）、ユーザサイト101に出力画面44が表示される。

【0026】

ここで、実際の検索は、ユーザが設定した条件に基づき、任意の一定期間、任意の周期で検索サイト102が検索を行い、検索結果をユーザサイト101に報告することとなる。例えば、検索の設定条件として、契約期間「1年間」、検索周期「1週間毎」、検索キーワード「国際電気×新製品」、情報源種別「有料サイト」、といったような場合には、検索サイト102が、契約成立後1年間の間、国際電気×新製品、の検索キーワードに合致するデータを含むサイトを情報検索群110の有料サイトの中より週1回検索し、その結果をユーザサイト101に報告する。この検索に係る契約としては、検索そのものに掛かる検索料及び保険料が課金徴収され、そのうちの保険料に相当する金額が保険サイト103に支払われるものである。

【0027】

図5は、本発明に関わる検索システムの入力画面の実施例を示す。

この入力画面は、ユーザサイト101が検索サイト102にアクセスしてユーザサイト101に表示される画面であり、検索キーワードの入力を行う検索キー入力部と、情報検索群の種別が表示されてこの各種別にカーソルを合わせてクリックすることで選択または非選択を決定する情報検索群選択部と、検索金額または保険金額またはそれらの合計金額の上限値を入力する上限値設定部と、等のユー

ザが初期に入力を行う画面表示が為されている。

ユーザサイト 1 0 1 にてユーザが上記の入力を行い、表示されている開始キーにカーソルを合わせてクリックすることで、検索サイト 1 0 3 に検索の申込みまたは検索契約の申込みが為される。例えば前述した図 3 の入力画面 3 1 や図 4 の入力画面 4 2 に相当するものである。

【 0 0 2 8 】

また、情報検索群の種別毎の保険区分を表示する保険区分表示領域と、検索金額または保険金額またはそれらの合計金額を表示する金額表示領域と、が画面に設定されており、ユーザサイト 1 0 1 から検索サイト 1 0 3 への申込みが為されると入力設定した条件に基づき検索に係る金額や保険区分などの検索と保険に係るデータが検索サイト 1 0 3 より返信されて、入力画面の所定のエリアに表示される。例えば前述した図 3 の入力画面 3 2 や図 4 の出力画面 4 3 または出力画面 4 4 に相当するものである。

【 0 0 2 9 】

図 6 は、本発明に関わる検索結果初期の出力画面の実施例を示す。

この出力画面は、ユーザサイト 1 0 1 が前述した入力画面への入力を行い、検索が実行された結果を表示する画面であり、検索結果のヒット件数と金額が情報検索群の種別毎に表示され、それらの合計数も表示される。

本実施例では、検索源種別毎にそのヒット数と、データ取得及びそれに掛かる保険料金とを表示しているものであり、例えば、ウェブジンは 1 件につき 1 円の料金と設定されている場合に、ヒット数 2 8 件であり、 $28 \times 1 = 28$ 円、無料ウェブは 1 件 1 0 円設定としてヒット数 8 3 件であって $83 \times 10 = 830$ 円、有料ウェブは 1 件 1 0 0 円設定としてヒット数 1 2 件であって $12 \times 100 = 1200$ 円、特定サイトは 1 件 2 0 0 円設定としてヒット数 3 件であって $3 \times 200 = 600$ 円、これら全合計が、 $28 + 830 + 1200 + 600 = 2650$ 円、という画面表示が為されている。

【 0 0 3 0 】

ここで、金額については、検索そのものの金額と検索の際の保険金額との両方を表示するようにしても良い。

さらに、検索日時や検索キーワード等の入力したデータを表示することにより、ユーザが設定した検索条件等の確認を行うこともできる。例えば前述した図3の出力画面33または出力画面34に相当するものである。

【0031】

図7は、本発明に関わる検索結果一覧の出力画面の実施例を示す。

この出力画面は、ユーザサイト101が前述した入力画面を表示への入力を行い、検索が実行された結果を表示する画面であり、検索結果のヒットしたホームページ等のアドレスと見出しが一覧形式に表示される。

【0032】

ここで、この一覧形式は情報検索群の種別毎に表示されても良く、一覧の件数すなわちヒットしてデータ取得した件数や検索キーワード等を画面表示しても良い。

さらに、検索日時や検索キーワード等の入力したデータを表示することにより、ユーザが設定した検索条件等の確認を行うこともできる。例えば前述した図3の出力画面33または出力画面34に相当するものであり、前述した図6を出力画面として表示した後、本出力画面へ移行するようにしても良い。

【0033】

図8は、本発明に関わる検索サイトにおけるユーザ管理メモリテーブルの実施例を示す。

このメモリテーブルは、ユーザサイト101のメールアドレスを記憶するユーザアドレス801と、ユーザの氏名または法人名を記憶するユーザ名802と、検索毎のキーワードを記憶する検索キーワード803と、検索対象である情報源の種別を記憶する情報源種別804と、検索に係る保険区分や保険料を記憶する保険805と、保険を掛けての検索を行う期間を記憶する契約期間806と、より構成される。

【0034】

ここで、契約期間806においては、検索する毎に保険が設定されるものか、若しくは任意の期間を検索を行う契約期間として設定したものであるか、など、契約期間に関するデータを記憶するものである。

なお、このメモリテーブルは検索サイト 1 0 2 (図 1) や 2 0 2 (図 2) の持つ記憶エリアに顧客情報として保持しておくことが好適であり、また、保険サイト 1 0 3 (図 1) や保険会社 2 0 3 (図 2) にて顧客情報として保持しておくこともできる。

【0035】

図 9 は、本発明に関わるユーザ別の検索結果メモリテーブルの実施例を示す。

この実施例は、検索してヒットした結果を記憶するメモリテーブルであり、情報検索群 1 1 0 より検索してヒットした各種ウェブサイトのメールアドレスを記憶するヒットアドレス 9 0 1 と、そのヒットした各種ウェブサイトのヒットした部分を抜き出して見出しとして記憶する結果見出し 9 0 2 と、検索毎のキーワードの中よりヒットしたキーワードを記憶するヒットキーワード 9 0 3 と、検索した結果のデータの情報源の種別を記憶する情報源種別 9 0 4 と、検索に係る保険区分や保険料を記憶する保険 9 0 5 と、検索してヒットした日時を記憶するヒット日時 9 0 6 と、ヒットした情報の内容の指向性を記憶する指向 9 0 7 と、より構成される。

【0036】

ここで、ヒットキーワード 9 0 3 において、複数の検索キーワードにより同一の情報をヒットしている場合には検索キーワード 9 0 3 にヒットした検索キーワードの全部を記憶する。

また、ヒット日時 9 0 6 において、別の検索日に同一の情報をヒットしている場合にはヒット日時 9 0 6 に最初にヒットした日時若しくは最後にヒットした日時を記憶する。

また、指向 9 0 7 においては、ヒットした情報の内容について、例えば要望事項であるのか、単に告発文であるのか、秘密裏に記述された事項であるのか、といったような情報の内容についての指向性をユーザがキー入力により設定して記憶するものである。

【0037】

【発明の効果】

本発明のデータ検索システムによれば、インターネット等通信回線上にはウェブジ

ンや有料ウェブサイトや無料ウェブサイト、さらには機密情報等のデータを扱う特殊なウェブサイト、などのあらゆるウェブサイトがあり、データ検索によってこれらウェブサイトへアクセスを行い、その結果、検索によりアクセスされたウェブサイトからの苦情や補償請求をされるような事態となることが想定される問題を解決することができる。

【0038】

すなわち、検索サイトからの検索を行う場合に、予め検索に対する保険を掛けることで、万一アクセスされたサイトからの苦情や補償請求をされてしまうというようなリスクを低減することができ、検索する各種ウェブサイトの絞込みなどの選択をする必要がなく検索洩れが生じにくくすることができるデータ検索システムとすることができる。

【0039】

また、予め保険が掛けられて検索実行が為されることにより、情報源となるあらゆる種類のサイトからの検索によるデータ取得を実行した場合でも、ユーザサイトが安心して検索サイトをアクセスして検索を行うことができ、検索サイトにおいても検索によるリスクを低減できるために検索能力の高い検索ソフトを組み込んだ検索サイトを通信回線上に提供することができる。

【0040】

【図面の簡単な説明】

- 【図1】 本発明に関わる検索システムの第1実施例を示す。
- 【図2】 本発明に関わる検索システムの第2実施例を示す。
- 【図3】 本発明に関わる動作フローチャートを示す第1実施例を示す。
- 【図4】 本発明に関わる動作フローチャートを示す第2実施例を示す。
- 【図5】 本発明に関わる検索システムの入力画面の実施例を示す。
- 【図6】 本発明に関わる検索結果初期の出力画面の実施例を示す。
- 【図7】 本発明に関わる検索結果一覧の出力画面の実施例を示す。
- 【図8】 本発明に関わる検索サイトにおけるユーザ管理メモリテーブルの実施例を示す。
- 【図9】 本発明に関わるユーザ別の検索結果メモリテーブルの実施例を示す。

【図10】 従来の検索システム図の一例を示す。

【図11】 従来例の検索システムにおける検索チャート図の一例を示す。

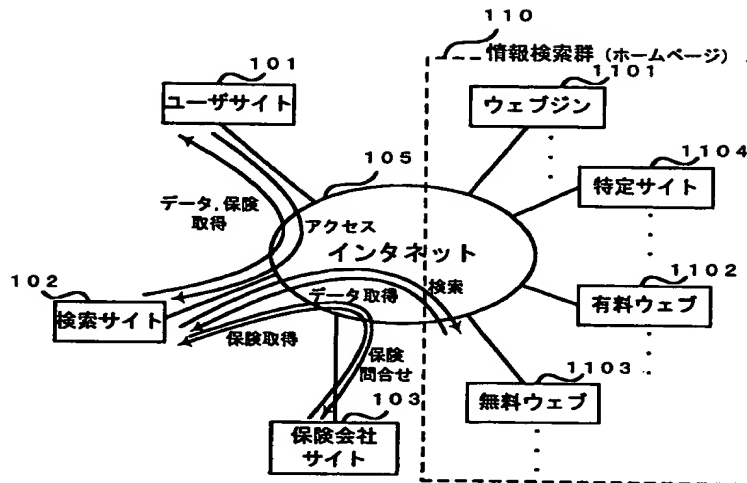
【符号の説明】

101 ユーザサイト、105 インタネット、110 情報検索群、102
、202、1002 検索サイト、103 保険サイト、203 保険会社、1
101 ウェブジン、1102 有料ウェブ、1103 無料ウェブ、1104
特定サイト、32、41、42、111 入力画面、33、34、43、
44、112、113 出力画面、
801 ユーザアドレス、802 ユーザ名、803 検索キーワード、804
情報源種別、805 保険、806 契約期間、
901 ヒットアドレス、902 結果見出し、903 ヒットキーワード、9
04 情報源種別、905 保険、906 ヒット日時、907 指向、

【書類名】 図面

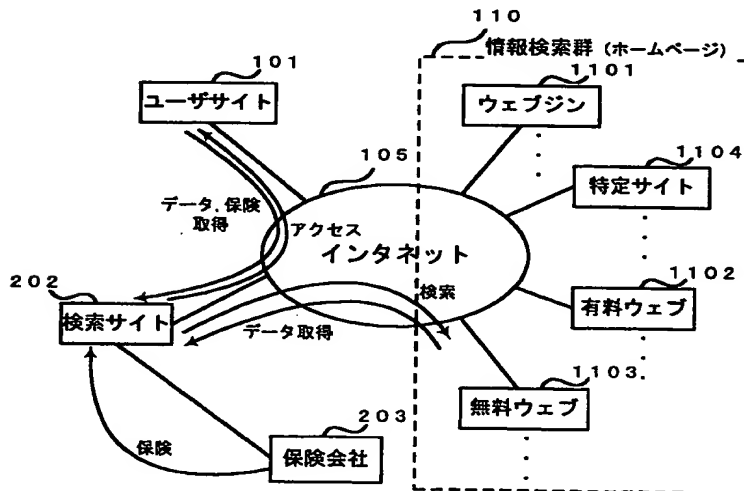
【図 1】

【図1】 本発明の検索システム第1実施例



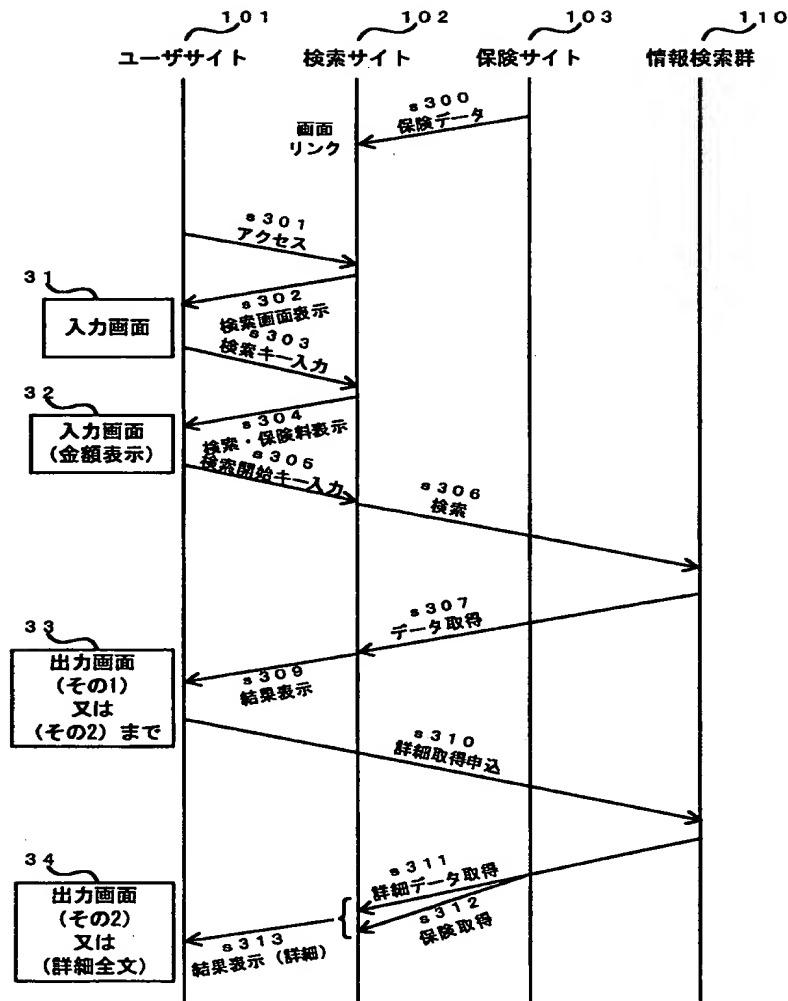
【図 2】

【図2】 本発明の検索システム第2実施例



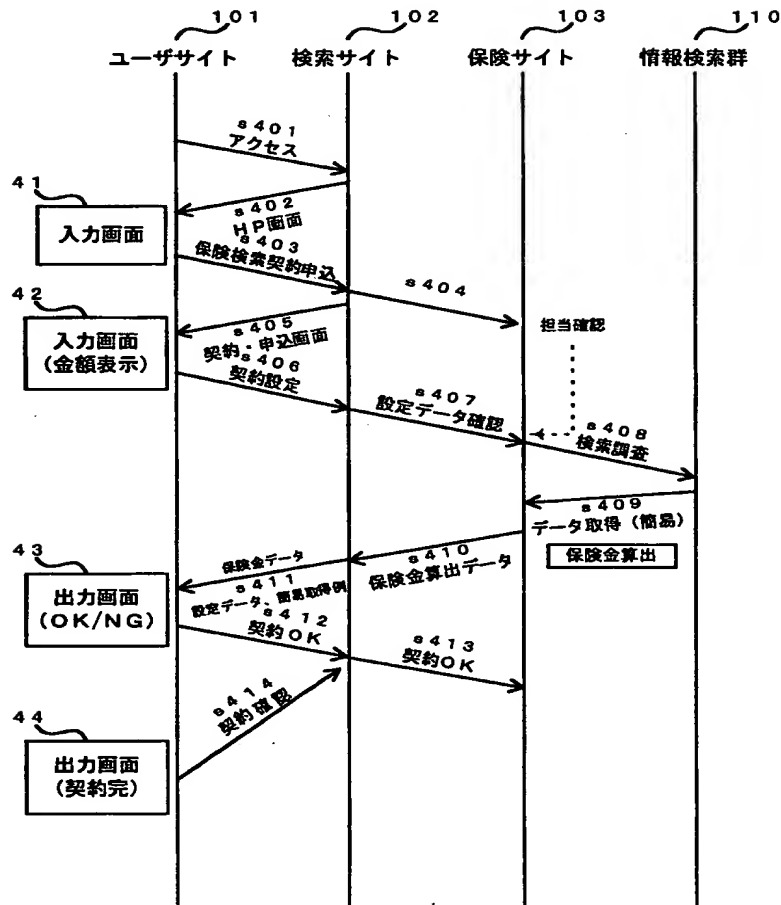
【図 3】

【図3】 本発明の動作フロー第1実施例



【図 4】

【図4】 本発明の動作フロー第2実施例



【図 5】

【図5】 本発明の入力画面例

検索キー入力 <input type="text"/> × <input type="text"/> × <input type="text"/>		情報検索源 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> メールマガジン <input type="checkbox"/> 特定サイト <input type="checkbox"/> 特定サイト有料 <input type="checkbox"/> 全検索	保険区分 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
<input type="button" value="開始キー"/>			
検索料金 × <input type="text"/> 保険料金 × <input type="text"/> 合計料金 × <input type="text"/>	検索金上限 × <input type="text"/> 保険金上限 × <input type="text"/> 上限額設定 × <input type="text"/>		

【図 6】

【図6】 本発明の出力画面例（初期）

検索結果一覧

キー:

	検索源種別	ヒット数	料金
<input type="checkbox"/>	ウェブジン	28件	¥28
<input type="checkbox"/>	無料ウェブ	83件	¥830
<input type="checkbox"/>	有料ウェブ	12件	¥1200
<input type="checkbox"/>	特定サイト	3件	¥600
<input type="checkbox"/>	合計	116件	¥2,658

【図 7】

【図7】 本発明の出力画面例（一覧）

検索結果一覧		検索種別: <input type="text"/>
詳細クリック		検索キー: <input type="text"/>
1.	アドレス: <input type="text"/>	
	見出し: <input type="text"/>	
2.	アドレス: <input type="text"/>	
	見出し: <input type="text"/>	
3.	アドレス: <input type="text"/>	
	見出し: <input type="text"/>	
4.	アドレス: <input type="text"/>	
	見出し: <input type="text"/>	
⋮	⋮	
⋮	⋮	
⋮	⋮	

【図 8】

【図8】 本発明の検索サイトのメモリテーブル例

ユーザアドレス	ユーザ名	検索キーワード	情報源種別	保険		契約期間
				区分	金額	

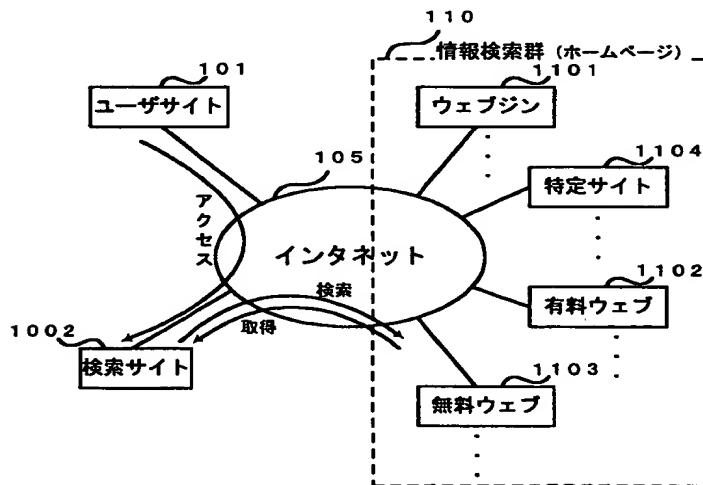
【図 9】

【図9】 本発明のユーザ別のメモリテーブル例

901 ヒットアドレス	902 結果見出し	903 ヒットキーワード	904 情報源種別	905 保険		906 ヒット日時	907 指向 (プラスマイナス)
				区分	金額		

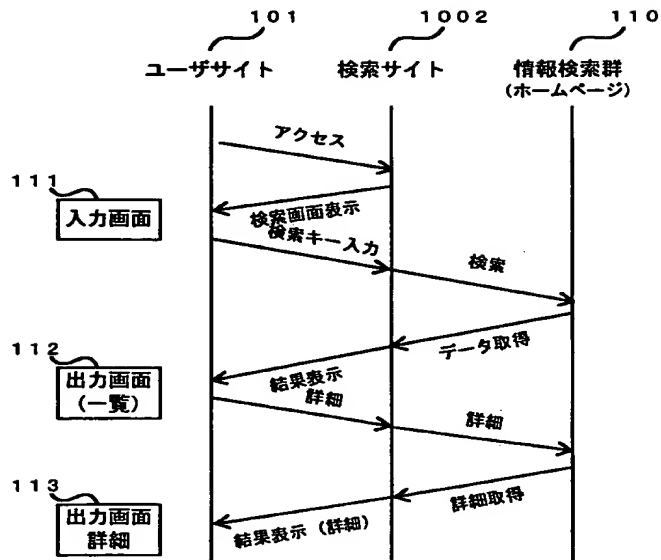
【図 10】

【図10】 従来の検索システム例



【図 11】

【図11】従来の検索システムの検索チャート例



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インタネット等通信回線上でデータ検索によって各種のウェブサイトへアクセスを行い、その結果、検索によりアクセスされたウェブサイトからの苦情や補償請求をされるような事態となることが想定される問題がある。

【解決手段】 検索サイトの検索画面は、検索キーワード等の検索に係る入力を行う入力エリアと、検索実行する際に保険に加入するか否かを選択する選択エリア、が設定され、ユーザサイトが前記選択エリアに保険に加入する旨のデータの選択を行って検索実行することにより、当該検索に保険を掛けて検索実行する。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 2 9 9 9 9 0
受付番号	5 0 0 0 1 2 6 7 7 8 9
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 2 年 1 0 月 3 日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 9月29日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001122]

1. 変更年月日 1993年11月 1日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都中野区東中野三丁目14番20号
氏 名 国際電気株式会社
2. 変更年月日 2000年10月 6日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都中野区東中野三丁目14番20号
氏 名 株式会社日立国際電気
3. 変更年月日 2001年 1月11日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都中野区東中野三丁目14番20号
氏 名 株式会社日立国際電気